

5月2日さいたま市長メッセージ

皆さんこんにちは、さいたま市長の清水勇人です。

こちらは、「盆栽界の至宝」と呼ばれる、五葉松の「日暮し」のレプリカです。一日見ても飽きないということから名付けられたという、その名のとおり、自然の力強さと気品を感じる素晴らしい盆栽です。

この「日暮し」の実物は、大宮盆栽美術館に所蔵されていますが、美術館のある大宮盆栽村が、来年、開村100周年を迎えます。

この100周年の機運を盛り上げていくために、大宮盆栽村の若手盆栽師と市が協働して、記念ロゴマークを作成しました。メインロゴには、中心に「日暮し」を配置したほか、文字のかすれ部分は、盆栽の見どころである、幹の枯れた部分、いわゆる「シャリ」を表現しています。

使用基準を満たせばどなたでもお使いいただけますので、多くの方にご利用いただきたいと思います。

そして、これまで続いてきた、この盆栽文化を次の100年に繋げていくために、5月1日からクラウドファンディング型ふるさと納税を開始します。集まった資金は、盆栽のプロモーション事業や、お子様へのミニ盆栽贈呈事業など、次世代へ盆栽文化を継承する取り組みに使わせていただきます。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

いよいよ、5月3日からは、毎年の風物詩となった「大盆栽まつり」

をはじめ、^{さまざま}様々な^{ぼんさいかんれん}盆栽関連のイベントが^{かいさい}開催されます。ぜひ^{かいじょう}会場に
お越^こしいただき、^{ぼんさいし}盆栽師によるライブパフォーマンスやワークショ
ップなど、^{おおみやぼんさい}大宮盆栽の^{みりよく}魅力を^{たんのう}堪能してください。